

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称											重点計画の該当		○					
計画の期間											交付対象		大山崎町					
計画の目標																		
・集中豪雨の多発や都市化に伴う浸水リスクの増大に対し、総合的な浸水対策と施設の耐震化を実施することにより、住民の生命と財産を最大限守る。																		
計画の成果目標（定量的指標）																		
①10年確率降雨に対応するため、大山崎排水ポンプ場の排水能力を現有10.2m ³ /s（50%）から20.1m ³ /s（100%（H31末））に向上させる。 ②雨水排水ポンプ場における耐震診断実施率を0%（H30）から100%（H33末）とし、完了させる。																		
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値			備考				
①大山崎排水ポンプ場の排水能力 排水能力/予定排水能力（予定20.1m ³ /s） ②雨水排水ポンプ場における耐震診断実施率 対策済箇所/対策予定箇所（2施設）											当初現況値	中間目標値	最終目標値					
											(H30当初)	(H31末)	(H33末)					
											50%	100%	100%					
											0%	50%	100%					
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		2,410百万円	A	2,410百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	-				
交付対象事業																		
A1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
										H30	H31	H32	H33					
A07-001	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	大山崎排水区（大山崎排水ポンプ場）	排水機場増設 Q=10.2m ³ /s (5.1m ³ /s×2台)	大山崎町					2240		-		
A07-002	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	雨水	大山崎排水区（雨水管渠）	浸水対策工事	大山崎町					20		-		
A07-003	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	大山崎・下植野排水ポンプ場耐震化対策	耐震診断・耐震化工事	大山崎町					150		-		
											小計（下水道事業）				2410		-	
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考			
番号 一体的に実施することにより期待される効果																		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考				
番号 一体的に実施することにより期待される効果																		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称

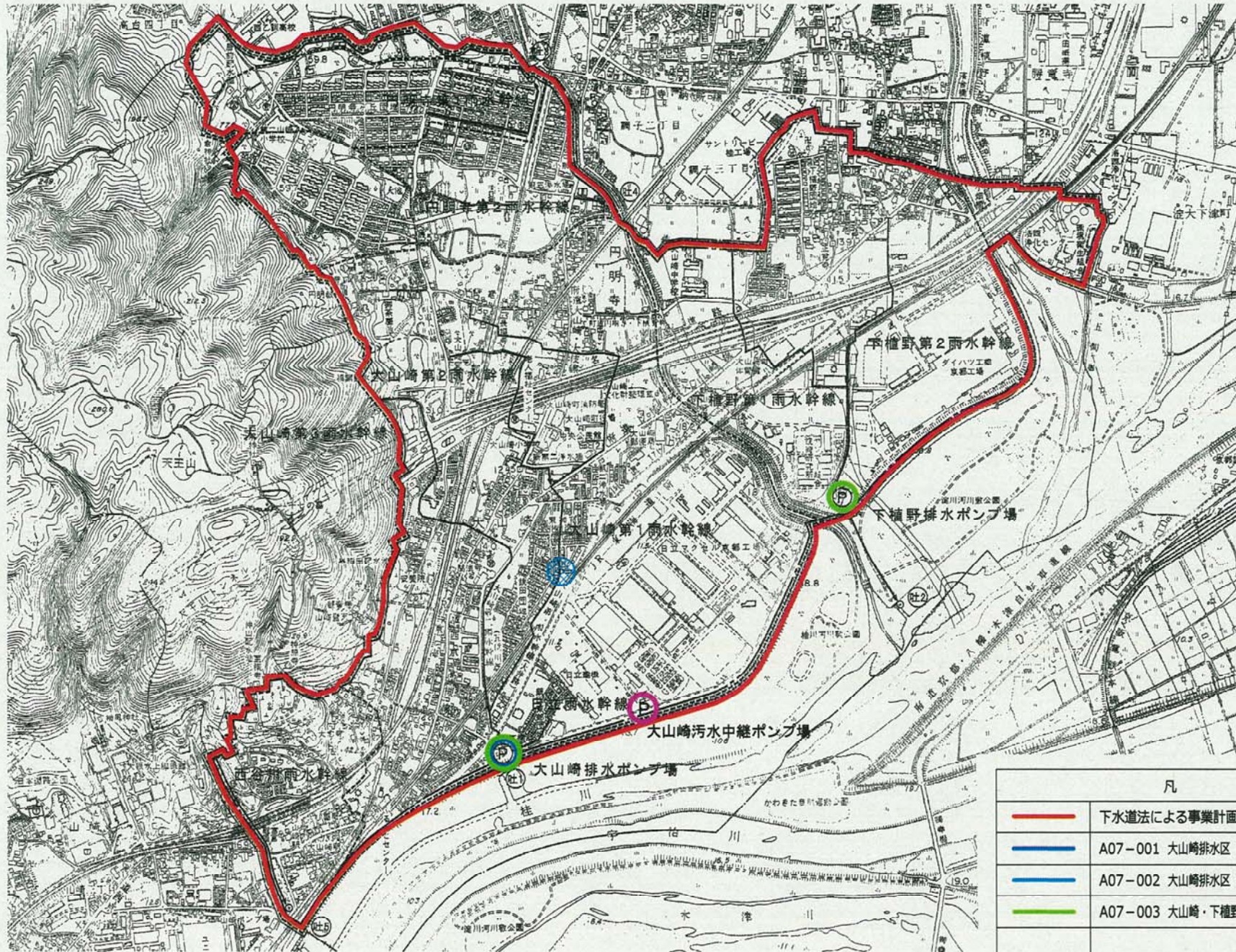
大山崎町における安全・安心な下水道整備（防災・安全）（重点計画）

計画の期間

平成30年度～平成33年度（4年間）

交付対象

大山崎町



凡 例

- 下水道法による事業計画区域
- A07-001 大山崎排水区（大山崎排水ポンプ場）
- A07-002 大山崎排水区（雨水管渠）
- A07-003 大山崎・下植野排水ポンプ場耐震化対策

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称 : 大山崎町における安全・安心な下水道整備(防災・安全)(重点計画)
都道府県名 : 京都府 大山崎町

チェック欄

I 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	レ
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	レ
II 整備計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	レ
②定量的指標の明瞭性	レ
③目標と事業内容の整合性	レ
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	レ
III 整備計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	レ
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	レ